

○取組評価及び総合評価一覧表（令和4年度）

	基本目標1		基本目標2		基本目標3		基本目標4		基本目標5		基本目標6		基本目標7						
	取組評価		総合評価	取組評価		総合評価	取組評価		総合評価	取組評価		総合評価	取組評価		総合評価				
	担当	会議		担当	会議		担当	会議		担当	会議		担当	会議					
1	A	A	A	C	C	B	B	B	A	A	A	B	B	B	B	A	A		
2	B	B		A	A		B	B		A	A		B	B		B	C	A	A
3	A	A		A	A		A	A		A	A							B	B
4																		B	C

○総合評価に対する説明や委員の意見について

【基本目標1】共に支え合うまちづくり

総合評価	総合評価に対する説明や今後の取組
	<p>取り組みの強化を図らなければならないものがあるが、全体的な評価として総合評価をA評価とした。小地域ネットワークの参加町内会等数が停滞している状況の改善や参加町内会等の活動の活性化を期待する。また、複合化・複雑化した支援ニーズに対応するため、包括的支援体制の構築が急務である。</p>
A	委員の意見（抜粋）
	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や団体において地域の支え合い活動への理解と関心を高める取り組みが行われている。 ・認知症サポーター養成講座やあいサポーター研修は、学校との親和性が高い。地域住民も学校で一緒に受講するなど、一体的な取組方法も考えられる。 ・小地域ネットワークなど、町内会等への負担が重くなっている。

【基本目標2】のびやかな人生が息づくまちづくり

総合評価	総合評価に対する説明や今後の取組
	<p>取り組みとして不十分な点があるが、各目標を全体的に勘案した結果、総合評価をB評価とした。社会環境の変化による老人クラブ数の減少問題の課題を抱えるほか、生活支援体制整備事業の取組が不十分であることから、事業を推進していく必要がある。</p>
B	委員の意見（抜粋）
	<ul style="list-style-type: none"> ・生活支援、介護予防サービスの充実に向けボランティア等の生活支援の担い手の要請・発掘、地域資源の開発等の取組が急がれる。 ・今後の老人クラブにとっては若手の加入促進・人材育成が大きな課題と捉えている。 ・はいかい模擬訓練の実施は、市民の興味を引く良い取組みである。

【基本目標3】健康を守り育てるまちづくり

総合評価	総合評価に対する説明や今後の取組
	<p>健康を守り育てるまちづくりの目標を実現するには、取り組みを強化するため、総合評価はB評価とした。特定健診や各種がん検診の受診率を向上させるため、健診を行う病院を含め対策を行う必要があるほか、自殺対策の強化が急務である。</p>
B	委員の意見（抜粋）
	<ul style="list-style-type: none"> ・自殺予防に向けた取り組みが全市的に消極的である。 ・健康状況や心のケアは学校や職場での取り組み強化が必要と感じる。 ・フレイル予防の浸透が図られているが、具体的な取組みとの更なる連動が可能と考える。 ・市のがん検診は安価で受診できるため、正しい知識や情報を発信していく必要がある。

【基本目標4】やさしさに満ちたまちづくり

総合評価	総合評価に対する説明や今後の取組
	<p>計画の内容に沿って目標どおりに進んでいると考え、総合評価はA評価とした。現在の取り組みを今後も継続して実施していくことが重要と考えるが、例えば、あいサポーター研修を町内会単位で増やすなど、更に取り組みが向上できるような手段を考えていくことが重要である。</p>
A	委員の意見（抜粋）
	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者への理解と支援に関するあいサポーター研修などが、小中学生や一般市民を対象に活発に実施されていることは高く評価する。 ・認知症や障がいによって判断能力が不十分な方が、判断能力が低下することによる成年後見制度へのスムーズな移行、切れ目ない支援を受けられる整備が必要である。

【基本目標5】安心して子どもを生み、健やかに育つまちづくり

総合評価	総合評価に対する説明や今後の取組
	<p>概ね目標どおりに進んでいるものの、取り組みを強化しなければならない点があるため、総合評価をB評価とした。環境の多様化に伴い、ヤングケアラーなど新たな問題が認知され始めているが、対策が追いついていない状況である。</p>
B	委員の意見（抜粋）
	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもや家庭から出されている虐待やいじめを疑わせるサインを見逃さず、早期発見・いち早く通報する体制の更なる強化を望む。 ・ヤングケアラーの実態を把握すべき。・自分がヤングケアラーだという自覚がない。 ・児童館や放課後児童クラブなど、ニーズに合わせた時間帯での運営が必要と感じた。

【基本目標6】男女が共に参画するまちづくり

総合評価	総合評価に対する説明や今後の取組
	<p>男女共同参画に関することは、小さい頃からの意識改革が重要であり、長い目で施策を講じていく必要がある。令和4年度の取組評価としてC評価のものがあるが、取り組みの結果がすぐに表れるものではないため、総合評価はB評価とした。</p>
B	委員の意見（抜粋）
	<ul style="list-style-type: none"> ・女性団体との連携や意見交換の結果などを反映する取り組みの推進が必要と考える。 ・女性の登用率向上に向けた取り組みを強化する必要がある。 ・女性目線での参画のあり方を検討する場を設けるなどして、実際の声を拾うことが必要である。

【基本目標7】安全で安心して暮らせるまちづくり

総合評価	総合評価に対する説明や今後の取組
	<p>コロナ禍の影響もあり、取り組みが不十分な点があるため、総合評価はB評価とした。防災に関する施策は進んでいるものの、防災訓練の参加者が少ないため、参加者を増やす対策が必要である。また、防犯や社会を明るくする運動については啓発が大事であるため、取り組みを強化していく必要がある。</p>
B	委員の意見（抜粋）
	<ul style="list-style-type: none"> ・社会を明るくする運動についての啓発を行い、運動の理解・参画の強化を望む。 ・地域で起こりうる様々な災害を予想し、地域・学校の協働による避難訓練が必要である。 ・生活に困窮したときに誰に相談したらいいのかわからない人が多いため、民生委員や社会福祉協議会の存在をもっと紹介していくべき。